

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	どうえん大手町児童デイサービス		
○保護者評価実施期間	2025年12月10日		2025年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	33	(回答者数) 17
○従業者評価実施期間	2025年12月10日		2025/12/20
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年2月3日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・小学校低学年が中心の曜日、小学校中高学年が中心の曜日、一人ひとりの個別活動に取り組む曜日を設定して予約を受けている。	・子ども同士の関係によって子どもの持つ力を引き出すことを心がけ、学年が近いクラス編成になるように予約調整をしている。	・落ち着いた環境で活動に取り組み、子ども一人ひとりが達成感や肯定感が得られるようなクラス編成となるよう取り組んでまいります。
2	・土曜日や長期休暇など利用時間が長い日は、遠足やクッキングなどの行事を実施している。	・長期休暇中の外出行事は、同じ場所へ行く日を2、3日設けて定員超過によって予約できないことを防いでいる。	・安全面に配慮しながらさまざまな経験ができるように外出先の開拓に取り組んでまいります。
3	・個々の家庭に配慮した対応をしている。	・連絡会や担当者会議などへ積極的に参加している。	・相談支援事業所を利用されておらず、複数の事業所を利用されている家庭に対して、より積極的に連絡会や担当者会議を働きかけてまいります。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・契約数が多く予約希望日が定員超過になり、希望される日程すべてにお応えできない現状がある。	・同学年ごとの利用曜日を提示しているため、契約が多い学年では予約希望日が重なってしまう。	・職員体制を整え、土曜日など利用枠を増や少しでも利用できるよう取り組んでまいります。
2	・活動時の子どもの様子を職員間で迅速に共有することが難しい。	・活動場所が2フロアにわかれているので、送迎までに職員が子どもの様子を共有する時間の確保が難しい。	・保護者の方へ子どもの様子を正しくお伝え出来るように、活動終了から送迎準備の時間を活用して、送迎担当職員と活動内容や自由時間の子ども様子を共有する時間を設けたり、難しい際はメモを活用したりし、保護者へ正しくお伝えできるよう取り組んでまいります。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	どうえん大手町児童デイサービス					公表日	2026年2月10日		
						利用児童数	33	回収数	17
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	0	0			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13	1	0	2		・定員6名の子どもに対して、保育士、児童指導員、児童発達支援管理責任者など5名の職員が常勤しております。 ・職員の状況によっては、普段より職員が少なくなることもあります。そのようなことが起きにくいよう心理士など兼務職員を可能な限り配置しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	3	0	0	・利用開始の頃しか見ていないのですが、階段部分が少し危ないかなと思った記憶があります。	・出入口が公道に面しているため活動中は鍵を閉めております。また、自動ドアの電源を切り手動で動かし、出入の際は細心の注意を払っております。 ・危険な箇所（扉やエレベーター、段差）にはイラストを用いて注意喚起をおこなっております。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	17	0	0	0			
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	17	0	0	0		・子どもたちの成長や保護者の方の要望に応えられるよう今後も研修等に参加し、職員個々のスキルを向上させられるよう努めてまいります。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	16	0	0	1			
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17	0	0	0			
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	17	0	0	0	・家庭の事情を考慮していただき、感謝しています。		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	17	0	0	0			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	2	0	1		・毎月、予約希望表(行事や日々の活動の予定)をお渡しして行事の日程をお伝えしております。	
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	5	3	5	4		・戸外活動にて地域の子どもたちとの交流の機会を作っております。	

保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	1	0	0	・見学の段階でも必要に応じて説明を実施しております。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	17	0	0	0	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	0	0	1	・広島市などが主催する研修会などの情報を連絡アプリにてお知らせしております。 ・心理士による面談を月二回程度、誰でも申し込み可能な日程を設定しております。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	17	0	0	0	
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	16	0	0	0	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	17	0	0	0	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	0	2	8	・保護者の方の要望を確認し、開催の必要性を検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	17	0	0	0	
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	0	0	0	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	16	0	0	0	
非常時等の対応	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	17	0	0	0	
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1	0	4	
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	0	1	10	・年間スケジュールを作成し、火災時や災害時の避難訓練や消火訓練、通報訓練を計画的におこなっております。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	9	3	0	5	
満足度	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	15	0	0	1	
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	17	0	0	0	
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	16	1	0	0	
	29	事業所の支援に満足していますか。	17	0	0	0	

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		どうえん大手町児童デイサービス				公表日	2026年2月10日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	2	3	・子どもたちの年齢があがり、体格も大きくなったためスペースは小さいと思う。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	・定員6名の子どもに対して、常勤職員として、保育士、児童指導員、児童発達支援管理責任者など5名を配置している。また、心理士など兼務職員が8名おり、常勤職員の出勤に応じてサポートに入っている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	・パーティションで室内を仕切ることで、子どもが活動する際に集中できるよう配慮している。 ・ケガをしそうな場所には、事前に塞いでおくなどの対応をしている	・建物の構造上完全なるバリアフリーには限界があるが、引き続き各子どもに合った「構造化・情報伝達」に努める。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	・除湿器を設置し、雨の日でも過ごしやすいような環境作りをおこなっている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	1	・子どもの様子に合わせてパーティションで室内を仕切り、クールダウンできる環境を設けている。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	1	・業務改善しているかはよく分からない。	・職員ミーティングなどより活発な意見交換や発言がありチームで業務改善に取り組めるよう日々のコミュニケーションを大切にしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	2	・第三者評価の受審はしていないが、法人本部による内部監査を受け、業務改善につなげている。	・第三者からの評価を受けた際には、職員間ですみやかに共有し、業務改善に関するミーティングを開催する。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0			
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0			

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・職員で相談をしながら、プログラムを立案している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	1	・5W1Hを意識し、具体的に記入し、誰が見ても状況を想像できるようにしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	5	0		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	1	・自由時間を設けて自分のやりたいことを選んで遊べるようにしている。	
	関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	・可能な限り参加するようにしている
27		地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	・必要な場合にのみ連携を図るようにしている。	
28		学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	・長期休暇のはじまり前後など送迎時間が曖昧になっている小学校、家庭がある。	
29		就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	5	0		

関係機関や保護者との連携	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	1	・前例がない。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	2		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	3	2	・公園などで関わる機会はあるが、児童館などとの交流はおこなえていない。	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	3	2	・中区こども部会にて、他の児童発達支援事業所とグループワークなどをおこなっている。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	・送迎の際に共有をしている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5	0	・希望される保護者へ心理士による面談を実施している。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	1	・契約時に説明している。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	・支援計画作成にあたり、保護者へ「子どもの強さと困難さアンケート」を実施し子どもや保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	・モニタリング面談の際に同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	・事業所内相談の日を設定している。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	3	2		
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	・利用契約書や重要事項説明書にて苦情解決や申し立て先を示し説明をしている。 ・苦情などの連絡を受けた際は、速やかに職員間で状況を確認し、保護者などに対して状況の報告と今後の対応について説明をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	・連絡アプリを用いて、行事などのお知らせをおこなっている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	1	・写真などの扱いについて保護者の意見を書面にて確認している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	1		

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	2		
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・年間スケジュールを作成し、火災時や災害時の避難訓練や消火訓練、通報訓練をおこなっている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	・医師の指示書はもらっていない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1		
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	3	2		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1		・共有が遅いものもあるため、すみやかに書類等を作成し迅速な共有に努める。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	1	・外部研修に参加した職員が研修資料を作成、周知し、情報共有をおこなっている。また、行政からの情報も職員間で共有している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1	・身体拘束をしないことを職員間で共有している。		